

2019年度 第2回理事会議事録

1. 日時及び場所 2019年5月18日(土) 10:52～12:35
大阪市住吉区杉本 3-3-138
大阪市立大学 杉本キャンパス
生活科学部A棟3階 研修・集会室
1. 理事総数 14名
出席理事数 8名 古川宏、大門樹、小張敬之、岡田明、篠原一光、
丁井雅美、渋谷雄、萩原啓
(書面表決者 木暮祐一、上松恵理子、大森正子、川野常夫、長谷川聡、遊橋裕泰)
監事：伊藤肇、松沼正平 事務局：都築
1. 審議事項 議案 シンポジウムの件
議案 モバイル研究会の件
議案 学会誌編集委員会の件

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり理事全員が出席したので、理事古川宏が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

議案 シンポジウムの件

まず、「モバイル'19」について担当理事 大門樹より、田村博研究奨励賞について報告がなされた。口頭発表は事前査読結果から2題が候補になったが、追加査読を行い1題を選出、ポスター発表は当日発表から選出された。結果は、異議なく承認された。続いて、会計について説明がなされた。例年との違いは、産総研との共催で会場費が無料であったこと、シンポジウム論文種をデータ配布に変更し印刷費が無料であったこと、アルバイトがスポットであったことがあげられた。会計報告は、異議なく承認された。

次に、「モバイル'20」日程の候補が担当理事 古川宏より、提案され、議場に諮ったところ、2020年3月5日と6日を第一候補と決定した(第二候補は同年3月19日、20日)。続いて会場は、筑波大学で会場費は有料であると説明がなされた。テーマは、検討の結果、「人々の多様性に寄り添うためにーモバイルの現状と未来ー」となった。特別講演は、認知心理学の分野から原田悦子氏(筑波大学)を検討していることが報告された。さらに講演者を議場に募ったところ、保険適応の医療アプリを開発した坂野哲平氏(株式会社アルム)、外国人の医療支援アプリの研究者 長谷川聡氏(名古屋文理大学)が候補者となった。

議題 モバイル研究会の件

「第28回モバイル研究会」の担当理事 渋谷雄より、一般的な研究会のスタイルで10月上旬に行うことが提案された。議長がこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。講演者について、意見が出たが 日程調整等を経て 選考・依頼することとなった。

議案 学会誌編集委員会の件

担当理事 大門樹と事務局より投稿論文の現状について以下の報告がなされた。次号の9巻1号への採録が既に決定している論文が1件ある。その他に 直接投稿は0件、同時投稿が2件。査読済みは2件（採録1件、不採録1件）。今後、デジタル化を進める事が確認された。該当する採録決定の論文については、個別に連絡をすることとなった。尚、データ化の告知以降は、別刷りは希望者のみ対応するが掲載料は据え置きとすると意見がまとまった。

その他

議長は、学会事務局運営について 負担が大きいことを説明した。今後の方向性として負担軽減が提案された。議長がこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。具体的には、各種編集作業の単純化、事務局の移転、各事業の担当者による事務作業の負担など。ただし、業務が分散しても、会計管理は事務が一元化する。継続が難しいようなら、今後の形態を検討することも必要との意見が出た。

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、議事録署名人として、理事 篠原一光と理事 小張敬之の2名を選任したいとの提案があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、午後0時53分に閉会した。

以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名押印する。

令和元年 5 月 18 日

特定非営利活動法人モバイル学会

議長： 古川宏（理事長印）

議事録署名人： 篠原一光（印）

議事録署名人： 小張敬之（印）